



第11期 株主通信

中間期

2025年1月1日~6月30日

B U S I N E S S R E P O R T



日本創発グループ
JAPAN CREATIVE PLATFORM GROUP

We Craft Your Imagination.

目次

P3	株主のみなさまへ
P4	今期の事業概要
P6	事業戦略
P8	新規グループ参画会社紹介
P10	連結業績ハイライト
P12	連結財務諸表
P14	会社情報/株主メモ

お客さまのご要望にお応えし、クリエイティブの制作から配信まで ワンストップのサービスをご提供いたします。

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、株式会社日本創発グループ第11期中間期(2025年1月1日～2025年6月30日)の事業概要につきましてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間においては、物価上昇や人手不足による設備投資の遅延、個人消費等に足踏みがみられたものの、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の増加、各種政策の効果によるサービス消費の回復、企業業績が好調に持続するなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。一方、世界的なインフレ率の高止まりによる金融引き締めが継続している状況、中国経済の停滞継続に伴う影響などが国内景気の下押しリスクとなっており、物価上昇や、アメリカ合衆国の関税強化等の自国第一主義的政策動向により、世界の交易環境が変化する不安が広がり、金融資本市場も混乱するなど、先行き不透明な状況が続きました。

当社企業グループの事業の環境につきましては、電気・ガスの燃料、紙やインクなどを含めた原材料価格は未だ高水準で推移する厳しい状況が続きました。一方、インバウンド需要やサービス消費が順調に回復し、企業広告活動は継続して活性化の動きが見られ、販促ツール・サービスの需要が増加いたしました。当社企業グループは、お客さまにより付加価値の高いサービスを提供するため、事業環境の変化や事業戦略に基づき将来の成長分野に事業資産を機動的に集中させております。企画提案・製造・製作からメディアによる配信までをトータルでカバーできるユニークな企業体として、クリエイティブサービス事業の領域拡大に取り組んでまいりました。

これらの結果により、当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は410億96百万円(前年同期比7.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は16億53百万円(前年同期比2.7%増)となりました。

私たちは、今後も社会の変化に柔軟に対応し、「クリエイティブをサポートする企業集団」として、お客さまにとって必要不可欠な存在であり続けたいと考えています。そのためにも、クリエイティブサービス事業を中心としたビジネス展開を積極的に推進し、株主のみなさまのご期待に応えるべく一段と努力してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、より一層のご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。



2025年8月

代表取締役社長 藤田 一郎

今期の事業概要

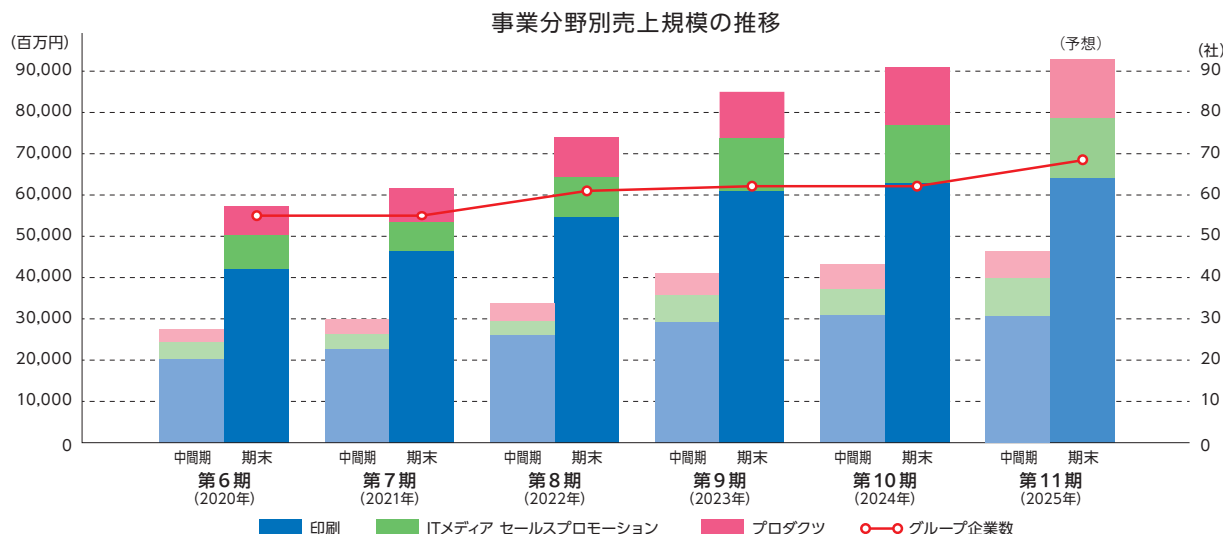
個性豊かな企業が参画する付加価値創造企業グループ

当社企業グループは、印刷関連事業を基盤としつつ、クリエイティブを表現する支援をコア事業とし、ITメディア セールスプロモーション事業、プロダクツ事業など、お客さまの目的に応じて、さまざまな手段・場所等におけるサービスなどをご提供するために、事業提携やM&Aを積極的に活用して成長を続けています。またAIをはじめとする近年の先端分野の技術革新は著しくかつその実現速度も加速しており、事業に取り入れるための投資規模も拡大基調にあります。

国内の印刷需要の縮小トレンドは不変であります、事業の効率化を進め付加価値を向上させるため事業会社の機能移転や統合などを積極的に進めています。その結果、印刷関連事業各社は

グループ各社の多様なソリューションを活用し多面的な提案営業を活性化することにより、安定的な業績を確保しています。新規商材への開発投資、製造設備への投資、人的資本の拡充、顧客基盤の再構築などを進めています。

当中間連結会計期間において、ビジネスコンサルティングを通して根本的・本質的な課題を解決するITソリューションを設計開発する株式会社DNTI、クリアファイル専業として高い技術蓄積のある株式会社シルキー・アクト及び、関西地域の拠点として立地上の付加価値が高い株式会社フジプラスとその子会社2社を新たに子会社とし、持分法適用子会社であった株式会社ハルプロモーション及び株式会社アエックスを連結子会社といたしました。



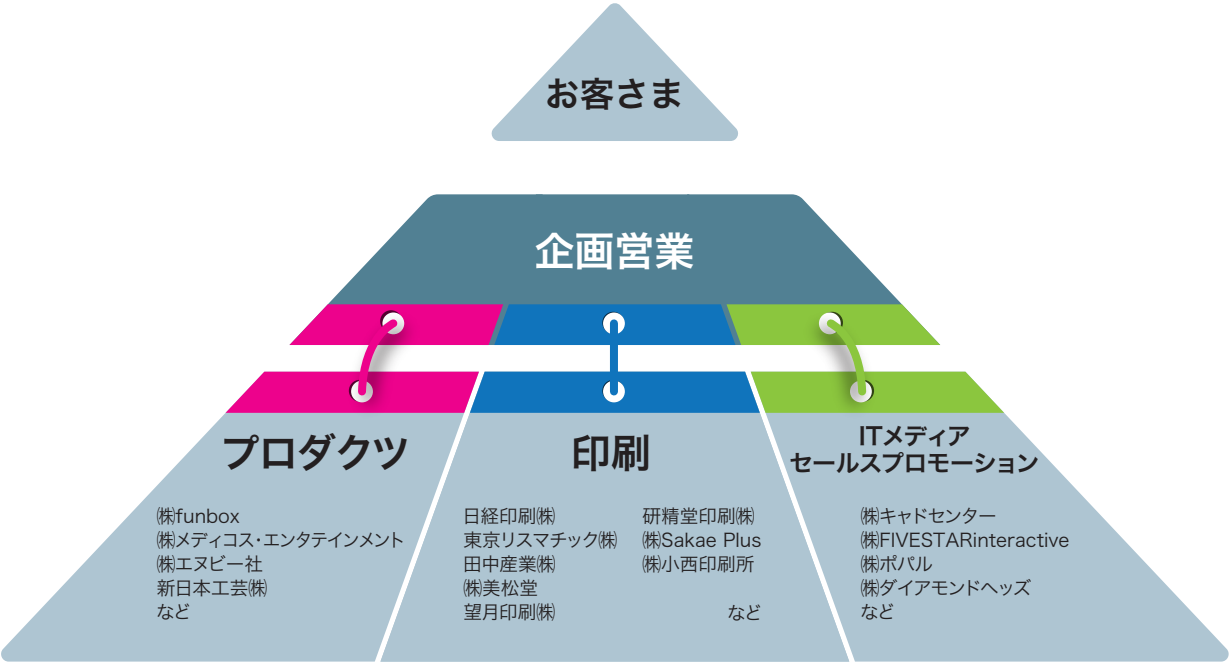
※グラフの値はグループ各社の売り上げを単純合計したものです。

連続したM&A+グループ内シナジーの追求

当中間連結会計期間末における当社企業グループは、当社及び連結子会社40社、非連結子会社18社及び関連会社10社の合計69社で構成されています。グループ企業のほとんどがM&Aを含む資本事業提携によりグループに参画いただいた企業となります。日本におけるM&Aは近年ではかなり活発に行われるようになりM&A調査会社*1によると2024年度は2023年度の4,247件を上回り4,704件となりました。当社が設立された2015年初のグループ会社数は22社、5年後の2019年末は49社そして10年後の2024年末は63社となります。売却されたオーナーが当社に参画する判断をされた理由はさまざまですが、ご自

身の後継者をどうされるかのお悩みや、社員と共に成長されてきた会社をさらに成長させるために、当社企業グループを選択されたケースが多いのが、当社のM&Aの特徴です。グループに参画後にご引退されるオーナーもいらっしゃいますが、PMI*2を含め数年にわたり伴走いただくことが多く、ご売却により自社の専門性や生産性を高めていただき、グループ各社との連携を実現するパートナーとして継続してご活躍いただいています。クリエイティブサービス業界において「当社企業グループが持つ力強さを実現するM&A戦略モデル」をこれからも進めていきます。

*1 出展レコフデータ資料
*2 PMI: Post Merger Integration買収後価値向上活動



事業戦略

製造拠点の集約と地域連携強化

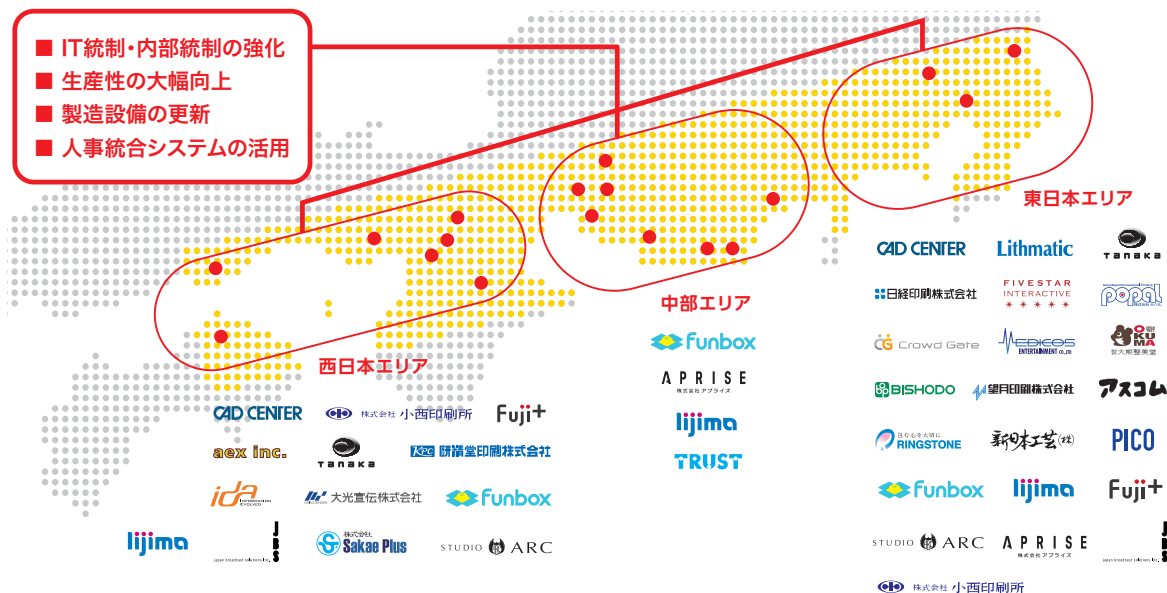
M&A等により、個性豊かな事業会社がグループに参画していただく一方、サービスや生産性と専門性を高めるために合併や拠点の集約を検討実行しています。

当中間連結会計期間において、宏和樹脂工業株式会社、株式会社プレシーズは株式会社美松堂と、株式会社スマイルは株式会社funboxと、また株式会社大宣工房は大光宣伝株式会社と合併し、それぞれの専門性を集結させ、販売製造を強化することといたしました。関西地域での印刷製造事業に関しては、株式会社フジプラスの伊丹工場に、兵庫県西宮市の株式会社小西印刷所の製造拠点を集約させるべく着手しています。製造拠点の集約整備は機械の移設や新設など多大なコストが必要ですが、生

産性の向上だけでなく、新規商材の開発や、販売チャネルの統合などによるサービスや製品付加価値の向上が期待できます。リススキリングを含めた人的資本への投資と、人時生産性の向上、さらには雇用機会の創出や賃金の上昇を実現しています。

また、SDGsやBCPの観点からも、西日本での納品は西日本エリアで、東日本での納品は東日本エリアで製造を行うなど、輸送コストを考慮したオペレーション体制を構築し、地域を分散しての製造や拠点の整備に取り組んでいます。

日本創発グループのオフィスは、東京と大阪に加え、名古屋にグループ営業拠点を開設しました。中部エリアのお客さまに、より積極的なご提案をさせていただきます。



日本創発グループのSDGsへの取り組み

世界的な気温上昇が続いています。気象庁より開示されている100年あたりの気温上昇は+0.77℃に対し北半球では+0.83℃とその傾向が顕著となっています。同統計において、日本の100年あたりの気温上昇は+1.4℃とアジア地域において突出しており、2023年は+1.29℃、2024年は+1.48℃と加速しています。1990年代半ば以降、高温となる年が増えており、地球規模での環境負荷軽減に対する取り組みの重要性が増しています。印刷関連事業およびITメディア セールスプロモーション事業においては、2021年より事業活動に関するCO2排出量を継続して記録してまいりました。2025年におけるCO2排出量は、企業グループ内での事業所統合や内製化及び省力化を進める設備投資を進めたことによりScope1(自社)の排出を減らした一方、業容の拡大によりScope2とScope3が増加し、前事業年度と比較して約2%増加しました。

今後とも当社企業グループは環境保全に向けた活動に積極的に取り組んでまいります。



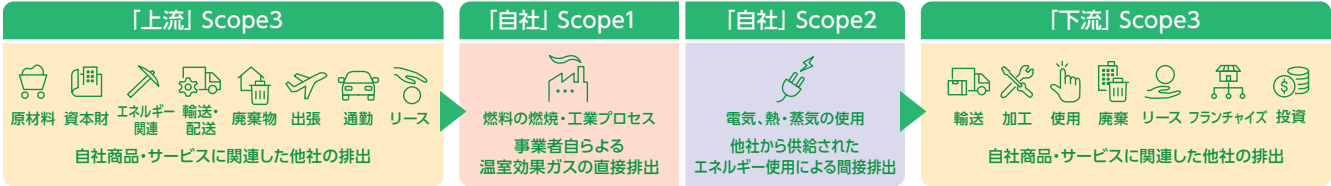
	Scope1	Scope2	Scope3	合計	前年同期比	前年同期 合計(t-CO ₂)
2025年1月～6月	2,450	9,987	100,180	112,617	102%	110,488

※日本創発グループ 印刷事業・プロダクツ事業 15 社

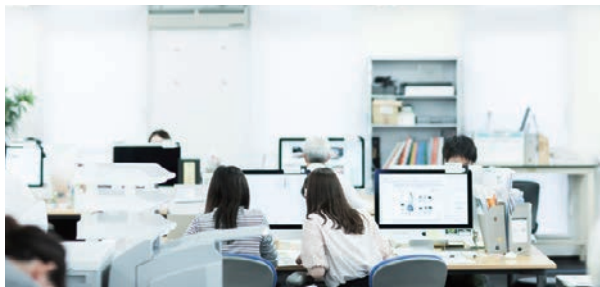
- Scope1 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
- Scope2 他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出
- Scope3 上記以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

ワンストップサービスの拡大は、CO₂削減にも効果があります。

温室効果ガス排出量の算出にはScope1～3の範囲が存在します。



新規グループ参画会社紹介



2025年4月連結

Fuji+

株式会社フジプラス

印刷、企画・デザイン等クリエイティブ、WEB関連

本 社 大阪市北区南森町1-2-28

<https://fujiplus.jp/>

連結子会社 議決権比率:100%

株式会社フジプラスは、大阪市北区を本社、兵庫県伊丹市に印刷工場を有する1923年創業の会社です。

伝統的な印刷手法や営業スタイルにとらわれることなく、デジタル印刷のワークフローの進化に余念がありません。



2025年4月連結

SILKY
ACT
 REAL PRINTING

株式会社シルキー・アクト

クリアファイル・PP・PET素材へのUVオフセット印刷

東京都北区浮間2-4-7

<https://silklyact.jp/>

連結子会社 議決権比率:100%

株式会社シルキー・アクトは、クリアファイルに関し業歴30年以上の実績に裏付けられた高い技術力が評価され、大手広告代理店等からも直接発注を受け、量産品から完全オーダーメイド製品まで、受注から製版・印刷・加工、袋入

までを自社工場で行っています。再生PPの積極活用や不要製品の回収・リサイクルによる環境配慮への取組も積極展開しています。



2025年1月連結

DNTI

株式会社DNTI

クライアントの課題に寄り添ったシステム開発とコンサルティングサービスの提供

東京都台東区上野3-24-6 上野フロンティアタワー18F

<https://dnti.jp/>

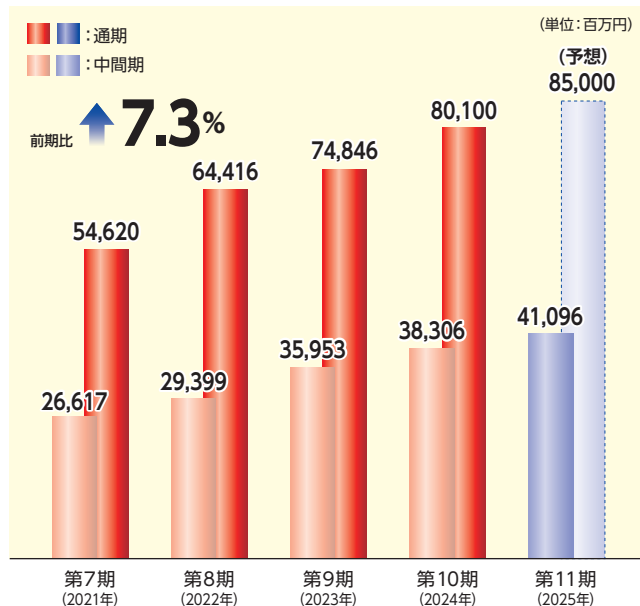
連結子会社 議決権比率:97.30%

株式会社DNTIは、2020年10月創業以来、30年以上にわたるビジネスコンサルティングの経験を活かし、お客さまが直面する「目の前の課題解決」だけでなく「根本的・本質的な課題解決」をお客さまと共に考え、ニーズや状況に合わせた

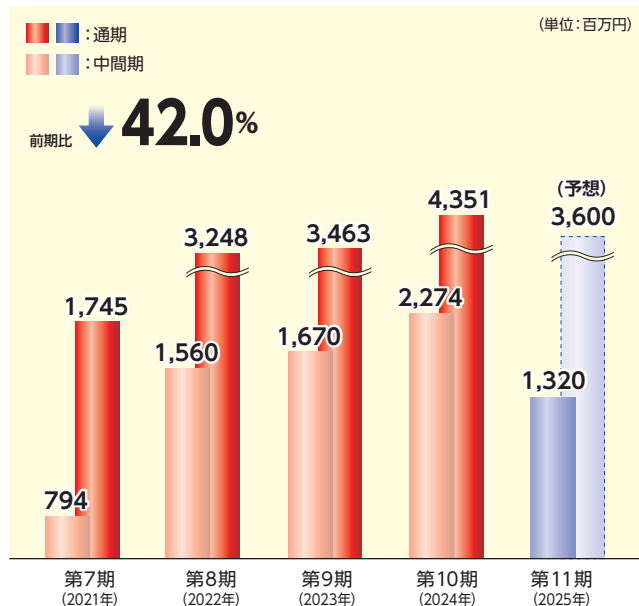
最適なソリューションを提供し、デジタル社会の発展と社会貢献をしていくことで、お客さまと共に成長することを目指して事業を展開しています。

連結業績ハイライト

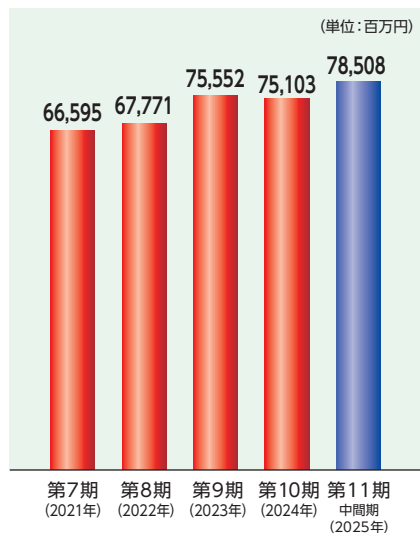
◆ 売上高



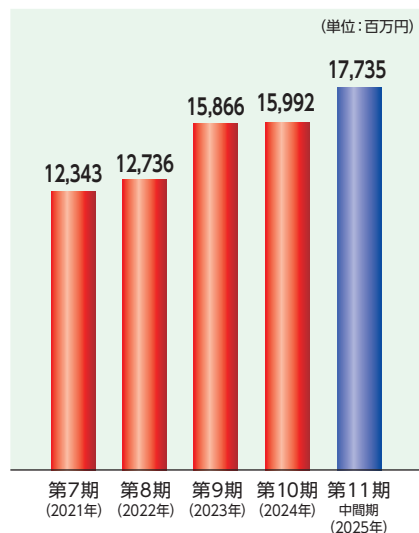
◆ 営業利益



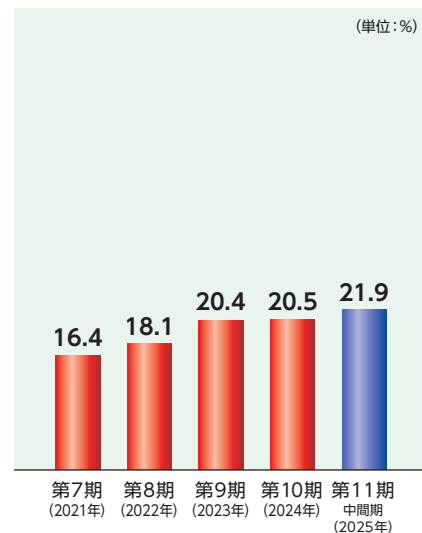
◆ 総資産



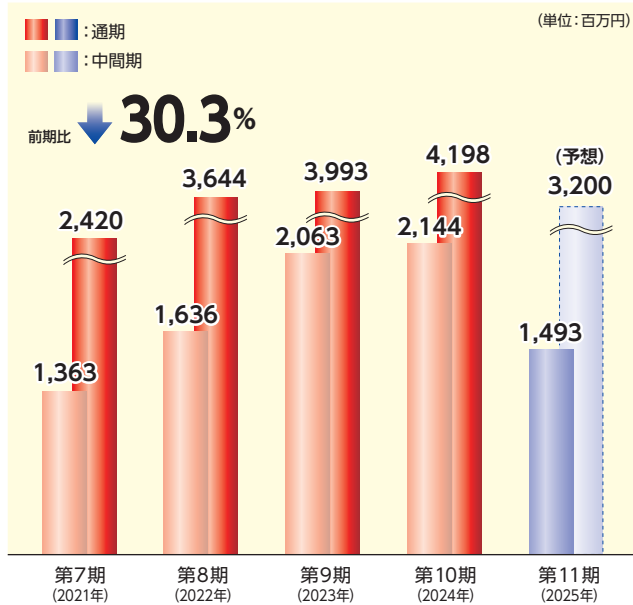
◆ 純資産



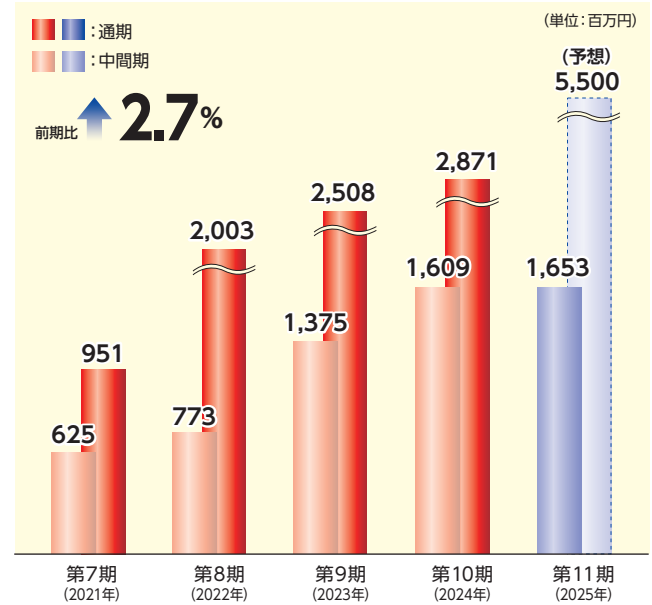
◆ 自己資本比率



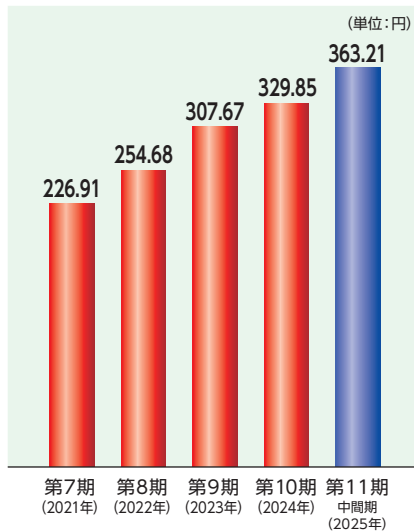
◆ 経常利益



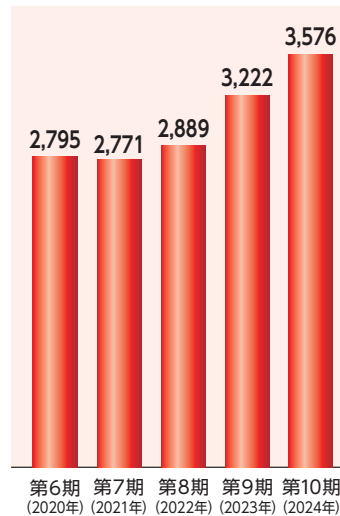
◆ 親会社株主に帰属する当期純利益



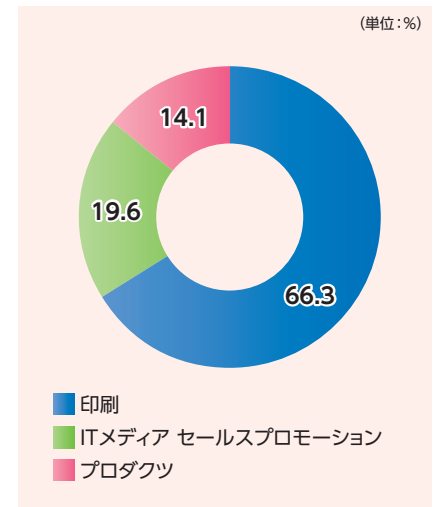
◆ 1株当たり純資産



◆ 従業員数



◆ 売上構成比



連結財務諸表

◆ 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前 期 2024年12月31日現在	当 期 2025年6月30日現在	科 目	前 期 2024年12月31日現在	当 期 2025年6月30日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	34,857	34,619	流動負債	44,367	33,806
現金及び預金	12,244	14,409	買掛金	3,842	3,320
受取手形、売掛金及び契約資産	14,350	11,578	短期借入金	25,000	18,600
その他	8,263	8,631	その他	15,525	11,885
固定資産	40,246	43,889	固定負債	14,743	26,967
有形固定資産	29,139	31,188	社債	-	3,999
建物及び構築物	8,452	9,001	長期借入金	10,975	19,375
機械装置及び運搬具	2,709	3,099	退職給付に係る負債	54	104
土地	17,369	16,491	その他	3,713	3,487
その他	606	2,596	負債合計	59,111	60,773
無形固定資産	1,391	1,354	(純資産の部)		
のれん	388	421	株主資本	15,206	17,000
その他	1,003	933	資本金	100	100
投資その他の資産	9,715	11,346	資本剰余金	4,663	4,798
投資有価証券	5,745	7,359	利益剰余金	12,351	13,695
その他	3,969	3,986	自己株式	△ 1,907	△ 1,593
資産合計	75,103	78,508	その他の包括利益 累計額合計	153	201
			非支配株主持分	632	533
			純資産合計	15,992	17,735
			負債及び純資産合計	75,103	78,508

◆ 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2024年1月1日から 2024年6月30日まで	2025年1月1日から 2025年6月30日まで
売上高	38,306	41,096
売上原価	26,823	28,368
売上総利益	11,482	12,728
販売費及び一般管理費	9,207	11,407
営業利益	2,274	1,320
営業外収益	518	741
営業外費用	648	567
経常利益	2,144	1,493
特別利益	311	1,454
特別損益	258	527
税金等調整前中間純利益	2,197	2,420
法人税等	657	757
非支配株主に帰属する中間純利益	△ 70	9
親会社株主に帰属する中間純利益	1,609	1,653

◆ 中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2024年1月1日から 2024年6月30日まで	2025年1月1日から 2025年6月30日まで
中間純利益	1,539	1,662
その他有価証券評価差額金	△ 86	49
繰延ヘッジ損益	2	△ 1
その他	2	0
その他の包括利益合計	△ 81	48
中間包括利益	1,457	1,711

◆ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前 期	当 期
	2024年1月1日から 2024年6月30日まで	2025年1月1日から 2025年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,464	2,393
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 939	△ 2,958
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,556	2,420
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△ 2
現金及び現金同等物の増減額	2,970	1,853
現金及び現金同等物の期首残高	14,355	12,232
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	316
現金及び現金同等物の中間期末残高	17,326	14,402

◆ 中間連結株主資本等変動計算書

(2025年1月1日から2025年6月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 金 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計		
当期首残高	100	4,663	12,351	△ 1,907	15,206	154	△ 1	153	632	15,992
当中間期変動額										
剰余金の配当			△ 309		△ 309					△ 309
親会社株主に帰属する中間純利益			1,653		1,653					1,653
自己株式の取得				△ 630	△ 630					△ 630
自己株式の処分		203		945	1,148					1,148
連結範囲の変動		80			80					80
連結子会社株式の取得による持分の増減		△ 149			△ 149					△ 149
連結子会社株式の売却による持分の増減		0			0					0
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)						49	△ 1	48	△ 99	△ 50
当中間期変動額合計	-	134	1,343	314	1,793	49	△ 1	48	△ 99	1,742
当中間期末残高	100	4,798	13,695	△ 1,593	17,000	204	△ 2	201	533	17,735

会社情報／株主メモ

■ 会社概要

商 号 株式会社日本創発グループ
英 文 商 号 JAPAN Creative Platform Group Co., Ltd.
事 業 内 容 傘下グループ会社の経営管理およびそれに付帯する業務
設 立 年 月 日 2015年1月5日
本 社 所 在 地 〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6
資 本 金 100,000,000円
決 算 期 12月31日
会 計 監 査 人 PwC Japan有限責任監査法人
取引金融機関 みずほ銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行
連結従業員数 3,576名(2024.12.31時点) ※臨時雇用者は含まれておりません。
顧問弁護士 荒山國雄法律事務所

■ 株式情報

証 券 コ ー ド 7814
上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場
発行可能株式総数 160,000,000株
発行済株式総数 51,000,000株
1単元の株式数 100株
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行
決 算 期 12月31日
定 時 株 主 総 会 3月

■ 役 員

代表取締役社長 藤田 一郎
取締役 鈴木 隆一
取締役 佐々木 裕彦
取締役 坂下 毅
取締役 井戸 剛
取締役 監査等委員 瀬島 仁志(社外)
取締役 監査等委員 寺田 正主(社外)
取締役 監査等委員 篠崎 祥子(社外)
取締役 監査等委員 菅波 希衣子(社外)
取締役 監査等委員 儘田 佳代子(社外)
取締役 監査等委員 山下 あや(社外)
取締役 監査等委員 三好 真由美(社外)
取締役 監査等委員 濱谷 美穂(社外)

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金の配当の基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日
公 告 方 法	電子公告 URL: http://www.jcpg.co.jp/ ただし電子公告による公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-232-711(フリーダイヤル)

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや技術情報など、
当社企業グループをご理解いただくためのさまざまな情報を提供しております。

URL <https://www.jcpg.co.jp>

日本創発グループ

検索



■ グループ中核概念

Vision

日本創発グループの存在意義／めざすこと

Mission

ビジョンの実現に向けて、
日本創発グループがなすべきこと

Value

ビジョンとミッションの下、
日本創発グループが
お客さまや社会に提供する価値

We Craft Your Imagination.

お客さまが羽ばたかせるご自身のイマジネーション。
私たちは、多様なリソースと先進技術を駆使して、それを確かなカタチにするお手伝いをしていきます。

チームワーク お客さまのチームの一員との心持ちで最善を尽くし、ベスト・パートナーとなることをめざします。そのためにも、社内・グループ内のチームワークの強化に努めます。

プロの真心と技 私たちは、お客さまのご満足と成功を願う真心と、それを支える技を兼ね備えたプロフェッショナルです。

言い訳のない品質 納品物の品質はもとより、企画段階からアフター・フォローまでのプロセスとスピードにおいても、言い訳のない高い品質を実現します。

プラスαの追求 私たちの最大の喜びは、お客さまにご期待を越える成果をお届けし、その笑顔を拝見すること。もっとその笑顔に出会うため、私たちは自らを鍛えながら、お客さまにとってのプラスαを追求し続けます。

我が事として 私たちは、目の前の一人ひとりのお客さまのご要望や目的、お悩みやお困り事に真正面から向き合います。そして、そのご満足を我が事として、丁寧に、一所懸命に追求します。

多様性の底力 私たちは、多様な個性、専門性、先進技術をもった人と会社が結びつき、切磋琢磨している集団です。そこに息づく多様性、先進性、独創性をいっそう発揮しながら、お客さまに新鮮な驚きをお届けしていきます。

新しいカタチ 私たちは、伝統的な印刷をさらに進化させつつ、想像力と先進デジタル技術を駆使して、クライアントの想いを、今まで見たことのないカタチでターゲットの心に刻みつけていきます。

良き市民 私たちは、良き市民として、お客さま、投資家、協力企業、業界、社員、さらには地域社会や環境に対する責任を、誠意をもって、また積極的に果たしていきます。

表紙写真について

①	②	③
	④	
⑤	⑥	⑦
	⑧	

- ①スポーツ応援グッズの販売を手掛けており、人気商品「スティックパルーン」は業界内でもトップレベルのシェアを誇ります。(株式会社プロモ)
- ②特許を多数取得し、使いやすくオリジナリティあふれる卓上カレンダーを製造。環境へのやさしさも重視しています。(株式会社トラスト)
- ③AV+ICTエンジニアリングを駆使し、大阪・関西万博ではバックエンドでプロジェクトをサポートしています。(ジャパンプロードキャストソリューションズ株式会社)
- ④「Active,Creative,Thinking」をコンセプトに、PET・PP素材を中心とした製品を製造。展示会へも積極的に出展し、新商品のPRにも力を入れています。(株式会社シルキー・アクト)
- ⑤「クリエイティブをトータルサポートする会社」として、各種販促ツールなどの企画制作から製造まで、幅広いサービスをワンストップで提供しています。(東京リスマチック株式会社)
- ⑥水引をモダンにアレンジしたアクセサリー等を展開。紙で織りなす日本の伝統文化を、皆さんの日常へお届けします。(株式会社エヌビー社)
- ⑦幅広い用途を持つクリスタル記念品を製造・販売。平面的に彫刻する2D加工はもちろん、ガラス内部に半立体的な彫刻をする3D加工も可能です。(横浜マテリアル株式会社)
- ⑧お客さまのニーズに応える総合力で、「感動」を「つくる」付加価値の高いコミュニケーションツールをご提供しています。(株式会社フジプラス)



SIAAマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

株式会社 日本創発グループ

〒110-0005 東京都台東区上野3-24-6

TEL.03-5817-3061

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。